

診療科目	内科	プログラム責任者：前田 慎
-------------	-----------	---------------

プログラムの特徴
<p>本プログラムは、神奈川県横浜市を中心とした地域において、初期臨床研修終了後に大学病院の内科系診療科が連携病院と協力して、質の高い内科医を育成するものです。また単に内科医を養成するだけでなく、医療安全を重視し、患者本位の医療サービスが提供でき、医学の進歩に貢献し、日本の医療を担える医師を育成することを目的とするものです。</p> <p>本プログラムは横浜市立大学附属2病院が連携するとともに、地域の連携病院とも協力して行われるものであり、神奈川県の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練され、基本的臨床能力獲得後は、ニーズに応じた医療を提供できる内科専門医として神奈川県全域を支える医師の育成を行います。</p>

プログラムの概要（修得項目）	
【1年目】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 症例：「研修手帳（疾患群項目表）」に定める70疾患群のうち、少なくとも20疾患群、60症例以上を経験し、日本内科学会専攻医登録評価システム（仮称）にその研修内容を登録します。以下、全ての専攻医の登録状況については担当指導医の評価と承認が行われます。 ・ 専門研修修了に必要な病歴要約を10症例以上記載して日本内科学会専攻医登録評価システム「J-OSLER」に登録します。 ・ 技能：研修中の疾患群について、診断と治療に必要な身体診察、検査所見解釈、および治療方針決定を指導医、Subspecialty上級医とともに行うことができます。 ・ 態度：専攻医自身の自己評価と指導医、Subspecialty上級医およびメディカルスタッフによる360度評価とを複数回行って態度の評価を行い担当指導医がフィードバックを行います。
【2年目】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 症例：「研修手帳（疾患群項目表）」に定める70疾患群のうち、通算で少なくとも45疾患群、120症例以上の経験をし、日本内科学会専攻医登録評価システム（仮称）にその研修内容を登録します。専門研修修了に必要な病歴要約をすべて記載して日本内科学会専攻医登録評価システム（仮称）への登録を終了します。 ・ 技能：研修中の疾患群について、診断と治療に必要な身体診察、検査所見解釈、および治療方針決定を指導医、Subspecialty上級医の監督下で行うことができます。 ・ 態度：専攻医自身の自己評価と指導医、Subspecialty上級医およびメディカルスタッフによる360度評価とを複数回行って態度の評価を行います。専門研修（専攻医）1年次に行った評価についての省察と改善とが図られたか否かを指導医がフィードバックします。
【3年目】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 症例：主担当医として「研修手帳（疾患群項目表）」に定める全70疾患群を経験し、200症例以上経験することを目標とします。修了認定には、主担当医として通算で最低56疾患群以上の経験と計160症例以上（外来症例は1割まで含むことができます）を経験し、日本内科学会専攻医登録評価システム（仮称）にその研修内容を登録します。 ・ 専攻医として適切な経験と知識の修得ができることを指導医が確認します。 ・ 既に専門研修2年次までに登録を終えた病歴要約は、日本内科学会病歴要約評価ボード（仮称）による査読を受けます。査読者の評価を受け、形成的により良いものへ改訂します。但し、改訂に値しない内容の場合は、その年度の受理を一切認められないことに留意します。 ・ 技能：内科領域全般について、診断と治療に必要な身体診察、検査所見解釈、および治療方針決定を自立して行うことができます。 ・ 態度：専攻医自身の自己評価と指導医、Subspecialty上級医およびメディカルスタッフによる360度評価とを複数回行って態度の評価を行います。専門研修（専攻医）2年次に行った評価についての省察と改善とが図られたか否かを指導医がフィードバックします。また、内科専門医としてふさわしい態度、プロフェッショナルリズム、自己学習能力を修得しているか否かを指導医が専攻医と面談し、さらなる改善を図ります。

到達目標
<p>基幹施設である横浜市立大学附属病院または横浜市立大学附属市民総合医療センターでの1年間と専門研修施設群での2年間（専攻医3年修了時）で、「研修手帳（疾患群項目表）」に定められた70疾患群、200症例以上の主担当医としての診療経験を目標とします。少なくとも通算で56疾患群、160症例以上を主担当医として経験し、日本内科学会専攻医登録評価システム「J-OSLER」に登録します。</p>

修了後に取得可能となるサブスペシャリティ領域
<p>※入局先によって異なります 日本内科学会総合内科専門医、日本血液学会認定血液専門医、日本リウマチ学会リウマチ専門医、日本アレルギー学会アレルギー専門医、日本感染症学会感染症専門医、日本呼吸器学会専門医、日本腎臓学会、日本高血圧学会、日本透析医学会、日本循環器学会、日本高血圧学会、日本心血管インターベンション学会、日本不整脈学会、日本糖尿病学会認定専門医、日本内分泌学会認定内分泌代謝科専門医、消化器病学会専門医、消化器内視鏡学会専門医、肝臓学会専門医、がん薬物療法専門医 等</p>

主な協力病院
<p>※入局先によって異なります 横浜市立大学附属病院（センター病院プログラム）、横浜市立大学附属市民総合医療センター（附属病院プログラム）、けいゆう病院、藤沢湘南台病院、横浜掖済会病院、小田原市立病院、帝京大学医学部附属溝口病院、横須賀市立市民病院、関東中央病院、国際医療福祉大学附属熱海病院、平塚共済病院、横須賀共済病院、横浜栄共済病院、横浜南共済病院、横須賀市立うわまち病院、国際親善総合病院、長津田厚生総合病院、横浜市東部病院、横浜市南部病院、聖隷横浜病院、茅ヶ崎市立病院、神奈川県立足柄上病院、神奈川県立がんセンター、神奈川県立循環器呼吸器病センター、関東労災病院、横浜労災病院、相模原病院、横浜医療センター、横浜中央病院、横浜保土ヶ谷中央病院、静岡赤十字病院、秦野赤十字病院、大森赤十字病院、平塚市民病院、藤沢市民病院、町田市民病院、大和市立病院、横浜市立市民病院、横浜市立脳卒中・神経脊椎センター、NTT東日本関東病院、川崎協同病院、汐田総合病院、藤枝市立総合病院、遠山病院、山梨県立中央病院、湘南鎌倉総合病院、東京新宿メディカルセンター 他</p>